

## 被災地の子どもたちに上質な遊び場として児童館を提供 岩手県釜石市に児童館建設決定。3 月中旬オープン予定

全国の児童館の活動支援を行い、子どもたちの育成に取り組む財団法人児童健全育成推進財団（以下育成財団、東京都渋谷区、理事長：鈴木 一光）と、未来を担う子どもたちへの支援に積極的に取り組むマニユライフ生命保険株式会社（以下マニユライフ生命、東京都調布市、代表執行役社長兼 CEO：クレイグ・ブロムリー）は、この度、岩手県釜石市鶴住居（うのすまい）地区に児童館を建設することに合意しました。

児童館は、鶴住居地区に建設予定の仮設小学校・中学校の敷地内に建設し、3 月中旬のオープンを予定しています。

児童館が建設される釜石市鶴住居地区では、東日本大震災の甚大な被害の影響で今も多くの住民の方々が仮設住宅での生活を強いられています。また、津波により岩手県内では唯一釜石市だけが児童館流出の被害にあい、現在は一時的に場所を移して開館しています。

来年 3 月に完成が予定されている鶴住居地区の仮設小学校・中学校のオープンのタイミングに合わせて、多くの方々が子どもたちの遊び場として児童館の再開を熱望されており、住民の方々の要望に是非応えたいという育成財団とマニユライフ生命の思いから、今回の児童館建設が決定いたしました。

マニユライフ生命およびその親会社であるマニユライフ・ファイナンシャル・グループの資金的支援のもと、児童館が建設されます。建設にあたっては、地元の方々のご希望に加え、専門家のアドバイスも取り入れ、子どもたちが安全で楽しく利用できる広々とした空間が実現します。

大きな被害にあった場所に戻ってくるご家族や子どもたちにとって、この新しい児童館がご家族、住民の方々の拠り所となり、また復興のシンボルとして子どもたちに喜んでいただけることと育成財団は確信しております。

マニユライフ生命 社長兼 CEO クレイグ・ブロムリーは次のように述べています。

「被災され困難な状況にある皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。マニユライフ生命では、世界各地で事業を展開する他のマニユライフ・ファイナンシャル・グループ企業と共に、被災地の復興を応援しています。今後も、長期的な視野に立った支援に、心を込めて取り組んでまいります。児童館建設が、地域の子どもたちとご家族のお役に立つことを願っております。」

## 財団法人児童健全育成推進財団について

財団法人児童健全育成推進財団（「育成財団」）は、児童館・放課後児童クラブを応援し、子どもたちの健全育成を支える財団法人です。研修会の開催、認定資格制度、児童福祉に関する調査研究、情報の提供など関連の事業を行っています。

児童館は、児童福祉施設として、0～18歳までの子どもたちを対象に遊びを通じた健全育成活動、子育て支援活動、地域の子ども育成・子育て環境づくりをおこなっています。また、放課後児童クラブは、放課後の子どもたちの健全育成を支え、子育て支援の観点からも期待されている事業です。

東日本大震災発生にあたり、育成財団は被災した児童館・放課後児童クラブの活動再開などを支援し、子どもたちの居場所・遊びコミュニティづくりに取り組んでいます。

育成財団のホームページは次の通りです。（<http://www.jidoukan.or.jp/>）

## マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャルのグループ企業です。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界21カ国・地域で事業を展開している金融サービスのリーディング・グループです。マニユライフは120年以上にわたり、信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を、世界各地のお客さまにお届けすることを目指してまいりました。同社職員、エージェンต์および販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、世界各地の数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、世界各地の機関投資家のお客さまには、資産運用サービスのみならず、損害・傷害保険の再々保険に特化した再保険の解決策もご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2011年9月30日現在4,920億カナダドル（4,730億米ドル）となっています。カナダおよびアジア地域ではマニユライフ・ファイナンシャルとして、米国においては主にジョン・ハンコックとして事業を展開しています。

マニユライフ・ファイナンシャルは、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ（[www.manulife.com](http://www.manulife.com)）をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。（[www.manulife.co.jp](http://www.manulife.co.jp)）